

## 授業づくりの Q&A —小学校外国語活動・外国語科—

Q1: 外国語活動と外国語科の共通点は何ですか？



A: どちらも「言語活動を通して」コミュニケーションを図る資質・能力を育成することです。

Q2: 外国語活動と外国語科の相違点は何ですか？



A: 外国語活動は「コミュニケーションを図る素地となる資質・能力」を、「聞くこと、話すこと」の言語活動を通して育成することであることに対して、外国語科は「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の基礎」を「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」の言語活動を通して育成することです。  
また、外国語活動では、「外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませること」をねらいの一つとしていますが、外国語科では「実際のコミュニケーションで活用できる基礎的な技能を身に付けること」としています。

Q3: 外国語活動・外国語科における「言語活動」とは何ですか？



A: 言語活動とは、「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動」です。言語活動は、「言語材料について理解したり練習したりするための指導」と区別されます。

外国語活動・外国語科における言語活動とは、次の5つの条件が満たされているものと考えられます。

- ① 実際に英語を用いた活動であること
- ② 互いの考えや気持ちを伝え合う活動であること
- ③ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが明確であること
- ④ 児童が興味・関心をもてる身近な題材が設定されていること
- ⑤ 体験的な活動であること

Q4: 「言語材料について理解したり練習したりするための指導」の「練習」とはどのような活動ですか？



A: 学習指導要領解説には、言語活動を行う際は「言語材料について理解したり練習したりするための指導」を必要に応じて行うよう示されています。言語活動を行う際には、単元又は1単位時間の初期段階で言語活動を通して学習内容として設定されている表現の音声を聞いたり話したりするなど、英語の音声に慣れ親しませる活動を展開し、言語の意味や働きなどを理解できるようにすることが大切です。

「言語材料について理解したり練習したりするための指導」の「練習」としては、以下のような活動があります。

- ・発音練習
- ・英語の歌やチャンツ
- ・単に語句や表現を反復することの多いゲーム（例：キーワードゲーム、ビンゴ など）
- ・英語の文字を機械的に書く活動

「練習」は言語活動を成立させるために重要ですが、練習だけで終わることのないように留意する必要があります。単元の中で言語活動がきちんと位置付いているか、また、練習は言語活動につながるものになっているかなどについて検討することが重要です。